

「夢チャレンジャー」の育成をめざして

～ふるさとを愛し、夢にチャレンジする子ども～

下関市立夢が丘中学校

学校運営協議会について

本校の学校運営協議会は、14名の委員（地域の方・保護者）で構成しており、学校教育基本方針や学校評価結果の分析とその後の取組などについて協議をしていただくとともに、委員及び教職員（全教職員が年2回以上、ローテーションで参加）が「学習支援部」「健全な心の育成部」「交流・体験支援部」の3つの部会に別れ、事業推進について熟議し、実践につなげています。協議会は年間5回開催し、そのうちの2回は「夢チャレネット」（夢が丘中学校区地域協育ネット協議会）の研修会を兼ねて行っています。協議した内容や決定事項については、学校だよりやホームページで、地域や保護者のみなさんにお知らせしています。



特色ある活動



本中学校区では、めざす子ども像を「夢チャレンジャー～ふるさとを愛し、夢にチャレンジする子ども～」として、毎月第3週を「あいさつチャレンジ週間」として、地域ぐるみであいさつ運動に取り組んでいます。期間中には生徒会執行部が小学校のあいさつ運動にも参加しました。

8月に行った小中合同研修会では、「夢が丘中学校区小中連携・地域連携カリキュラムについて」のテーマで熟議を行いました。11月の研修会では、歌詞を児童・生徒で考えた「あいさつの歌」が披露されました。ついで、保護者および地域の方々とともに「夢が丘中学校区の地域連携カリキュラムを考える」というテーマで部会別に熟議を行い、家庭・地域・学校でそれぞれできることを話し合い、共通理解を図りました。

来年度に向けて

来年度の生徒会活動での目標の一つに「あいさつ日本一」を掲げています。地域・家庭・学校の連携を一層深め、「あいさつ運動」のさらなる活性化をめざすとともに、本中学校区のめざす子ども像である「夢チャレンジャー～ふるさとを愛し、夢にチャレンジする子ども～」の具現化に向け、小中・地域が連携して「夢」のある教育活動に取り組んでいきたいと考えています。



「地域とともにある学校」をめざして

下関市立川棚小学校

学校運営協議会について

主な協議内容

- ・本年度の学校経営方針の説明と承認・学校運営協議会年間計画について（8月）
- ・学校支援について（8月）
- ・1回目の学校評価について（11月）
- ・2回目の学校評価について、本年度の取組の反省、次年度の学校経営方針の承認（2月）

特色ある活動

- ◆ 月に2回、月曜日の朝学の時間に「読み聞かせ」の実施（低学年実施）
- ◆ 第1回熟議（夢が丘中学校区小中合同）の実施
実施日：令和2年8月19日（水）14:50～16:25
参加者：およそ80名
 - 「夢中学校区あいさつ運動」の様子や課題
各小中学校の教頭が発表
 - 熟議「夢が丘中学校区小中連携・地域連携カリキュラム」について
 - ・「学校・地域連携カリキュラム」の説明
 - ・各学校の校区で、「学校・地域連携カリキュラム」についての検討
 - ・「小中連携・地域連携カリキュラム」の作成に向けて、学校のみで行う学習、地域と連携して学ぶ活動、今後、地域と連携が考えられる学習について活発な意見交換が行われた。
- ◆ 第2回熟議（夢が丘中学校区小中合同）の実施
実施日：令和2年11月30日（月）
参加者：およそ55名
 - プロジェクトリーダー会議の復伝
 - 熟議による「小中連携カリキュラム」の作成
- ◆ あいさつチャレンジ週間
夢が丘中学校区では、毎月、第3週を「あいさつチャレンジ週間」とし、学校・地域であいさつ運動に取り組んでいる。今年度は、夢が丘中学校の生徒（本校の卒業生）が小学校に来て、手本となるようなあいさつを見せています。
- ◆ ユニット型研修
学校運営協議会の委員さんに校内授業研究会のご案内をし、可能な委員さんには研究協議会にも参加していただき、意見や感想をいただくなどして授業改善に努めています。



来年度に向けて

来年度も、コロナ禍で厳しい状況が続くと予想されるが、可能な限り行事内容等の工夫・改善を図り、気軽に学校へ出入りができるようにし、学習支援等の体制づくりに積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

また、完成した地域連携カリキュラムの実践を積み重ねつつ、教職員の意識を高め、児童にとって価値あるものにしていくように努めたいと思ひます。

「夢チャレンジャー ～ふるさとを愛し夢にチャレンジする子ども～」の育成をめざして

下関市立小串小学校

学校運営協議会について

- 1 本校の学校運営協議会（年4回実施） ※本年度は3回実施
14名の委員と本校教職員の代表が出席して、年に2回行う学校評価をもとに学校の現状を共通理解し、学校課題の解決に向けて具体的な取組を熟議しています。
 - ・ 第1回 令和2年 5月28日（木）18:00 **新型コロナウイルス感染予防のため中止**
 - ・ 第2回 令和2年 8月28日（金）18:00 学校経営方針、前期学校評価結果から
 - ・ 第3回 令和2年11月27日（金）18:00 いじめ防止対策委員会
 - ・ 第4回 令和3年 2月26日（金）18:00 後期学校評価結果から、本年度の振り返り
- 2 学校運営協議会のしくみを生かした夢が丘中学校区地域協育ネット協議会【夢チャレネット】（年2回実施）
夢が丘中学校区では、1つの中学校と3つの小学校のPTA、学校運営協議会委員、教職員が、「夢チャレンジャー ～ふるさとを愛し夢にチャレンジする子ども～」の育成をめざして、学校・保護者・地域が連携した具体的な取組を熟議しています。

特色ある活動

- ◆熟議の実施 「夢チャレネット」秋季合同研修会 参加者46名 宇賀小学校体育館にて
実施日時…令和2年11月30日（月）14:50～16:25
テーマ…「夢が丘中学校区の地域連携指標（家庭・地域でできること）を考える」
〔参加者の意見〕
 - ・ 小学校低学年では、時間がある時は一緒に宿題を見る。毎日少しでも学習する時間を作る。 【知】
 - ・ 家庭で当たり前のこと（おはよう、いってらっしゃい、おかえり、おやすみ）を習慣づける。 【徳】
 - ・ 家庭の中での時間の管理を親子でしっかり話し合い、規則正しく過ごす習慣付けをする。 【体】



↑ 秋季合同研修会での熟議

- ◆あいさつチャレンジ週間の取組
夢が丘中学校区では毎月第3週目の「あいさつチャレンジ週間」と定め、あいさつ運動に取り組んでいます。今年度は、小中合同あいさつ運動が行われ、夢が丘中学校生徒会執行部の生徒さんが来校しました。
「おはようございます」という中学生の明るく元気なあいさつに刺激を受けて、小串小学校児童のあいさつの声が少しずつ大きくなりました。



↑ 小中合同あいさつ運動の様子

来年度に向けて

本年度は、夢が丘中学校が中心となって、「夢が丘中学校区小中連携指標・地域連携カリキュラム」を作成しています。今後は、本校の「学校・地域連携カリキュラム」との関連をより明確にし、教職員間で共通理解しなければならないと思います。
また、あいさつ運動を活性化するために、本年度は「あいさつの歌」ができたので、今後はみんなで歌うことにより、明るく元気なあいさつへの意識を高めていきたいと思っています。しばらくは、コロナ禍での取組となるので、臨機応変に対応していきたいです。

「ふるさとを愛し、夢にチャレンジする子供」を目指して

下関市立宇賀小学校

学校運営協議会について

①主な協議内容

- 第1回学校運営協議会（5月）
 - ・学校運営方針、重点目標の説明と協議
 - ・本年度の協議会の組織づくりと活動方針の決定について
- 第2回学校運営協議会・第1回専門委員会（6月）
 - ・第1回学校評価アンケート実施と項目について検討 ・専門部の活動趣旨説明
 - ・各専門部別（学力向上部会・豊かな心育成部会・体力向上安全部会）の活動方針と活動計画の立案
- 第3回学校運営協議会（9月）
 - ・学校経営について説明 ・専門部の活動趣旨説明
 - ・第1回学校評価アンケートは、12月に実施とする。
- 第4回学校運営協議会（2月）延期
 - ・学校評価アンケートの結果、考察について
 - ・令和2年度の反省と令和3年度学校運営方針の説明

特色ある活動

◆地域とともにふれあいウオーク

ふれあいセンターとの共催で毎年校区内の名所を歩いて回る活動を地域、保護者、児童、教職員が一緒に行っています。今年は、前日に雨が降ったので鯖釣山を除いて7カ所の名所を巡りました。各名所には、地域の方が講師となって由来を説明していただきます。児童にとっては郷土愛を育む絶好の機会となり、参加される方にとっては、児童と直にふれあう貴重な体験活動となっています。



～大敷網発祥の碑でのお話～

◆文化伝承ふれあい交流会

地域の方に、古くからの日本の文化を教えるだけでなく活動を平成24年から続けています。最近では正月飾りを製作していて、今年は、竹を切る活動を地域の方に手を添えてもらいながら行って、竹の花入れを完成させました。地域の方には寒い中、松や梅、万両なども用意していただき、華やかな正月飾りを製作することができました。



～1年生ものこぎりを使いました～

来年度に向けて

◆今年度は、活動がかなり制約されましたが、地域の方が児童や学校のために協力していただき、可能な範囲でふれあい活動を実施することができました。これは、ひとえに地域コーディネーターさんをはじめとする地域の方々のご尽力の賜物です。また、地域の方々の「児童の姿に元気をもらった」という声もあり、学校=子供が、地域の元気創造の一助となっていることを感じます。学校は豊かな教育活動の推進が図れ、コミュニティ・スクールの良さを享受しています。この関係性に感謝し深化拡充していきます。